

一般国道156号

ぎふひがし

岐阜東バイパス

(道路事業)

説明資料

平成28年9月30日

中部地方整備局
岐阜国道事務所

目 次

1. 一般国道156号岐阜東バイパスの事業概要		
(1)事業目的	P 1	
(2)計画概要	P 2	
2. 評価の視点		
(1)事業の必要性等に関する視点	P 3	
①交通渋滞の緩和	P 3	
②交通安全の確保	P 3	
③ストック効果事例:地域経済の活性化	P 4	
3. 事業の進捗及び見込みの視点		P 5
4. 県・政令市への意見聴取結果		P 5
5. 対応方針(原案)		P 5

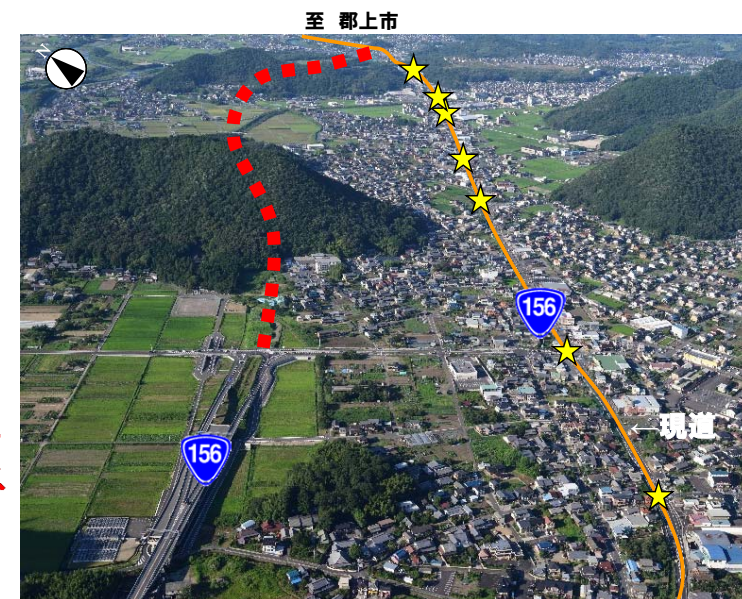
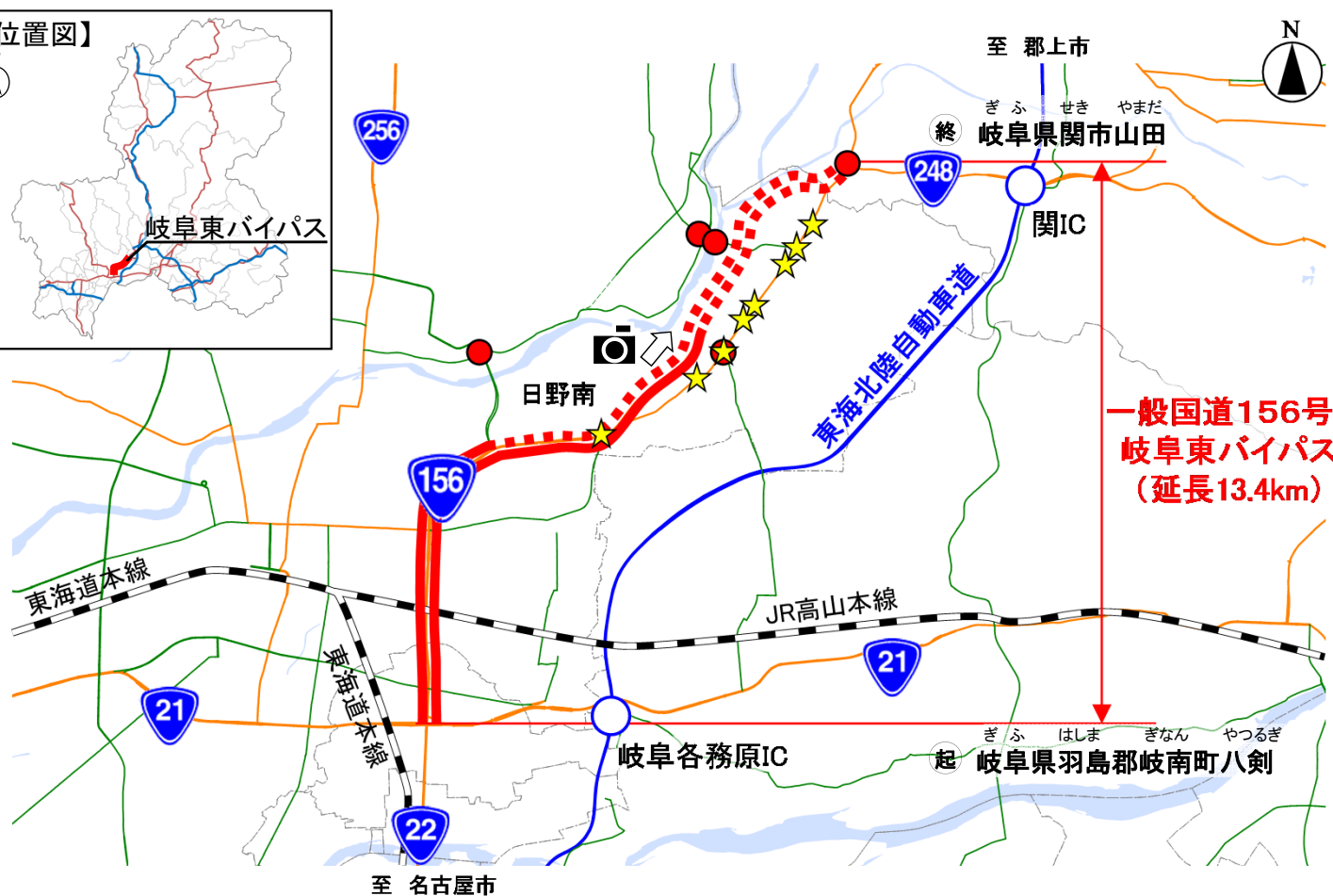
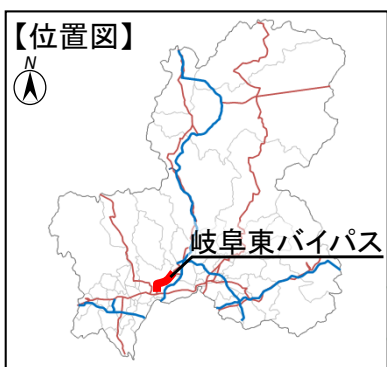
1. 一般国道156号岐阜東バイパスの事業概要

(1) 事業目的

一般国道156号岐阜東バイパスは、岐阜県羽島郡岐南町八剣から岐阜県関市山田に至る延長13.4kmのバイパスであり、岐阜の市街部を迂回する岐阜環状線の一部を構成し、交通渋滞の解消や交通安全の確保を目的に計画された道路です。

並行する現道等には、主要渋滞箇所(5箇所)や事故危険区間(8区間)の存在などの課題があり、本事業は、課題解決のために別線バイパスを整備することで、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、地域経済の活性化等の効果を見込んでいます。

岐阜東バイパスの全体位置図



未開通区間起点側から終点側を望む

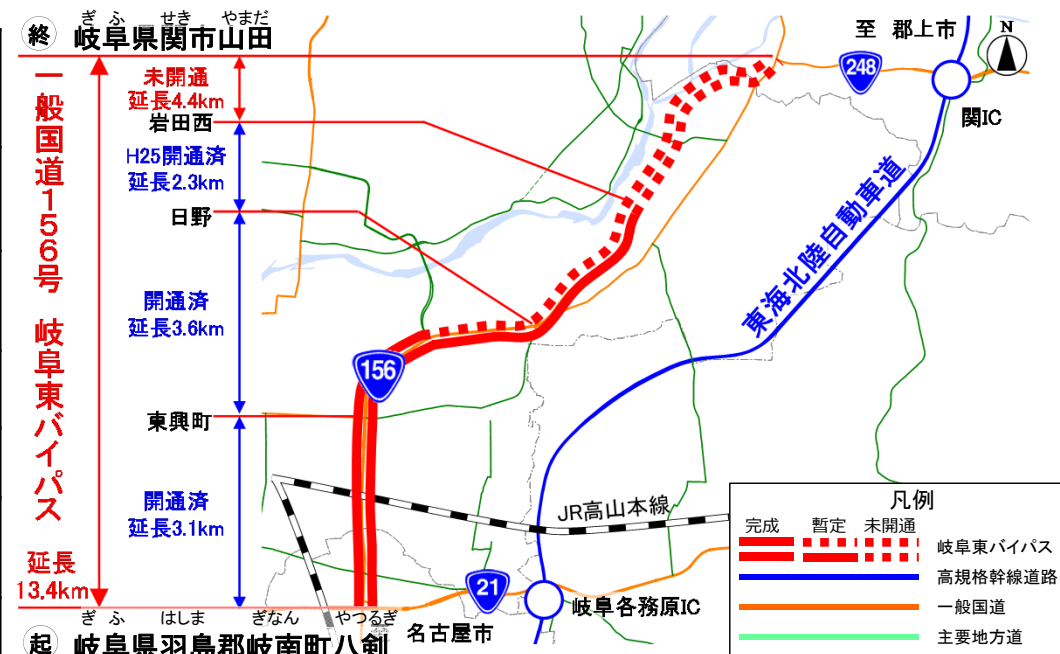
凡例		
完成	暫定	未開通
岐阜東バイパス		
高規格幹線道路		
一般国道		
主要地方道		
主要渋滞箇所		
事故危険区間		

1. 一般国道156号岐阜東バイパスの事業概要

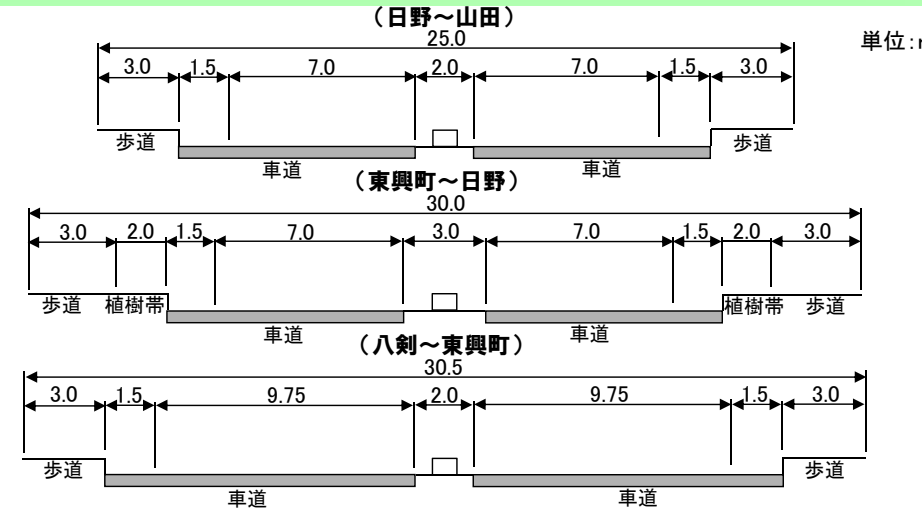
(2) 計画概要

岐阜東バイパスは現在、^{ひの やまだ}日野～山田間(延長6.7km)について、暫定2車線で整備を進めています。平成25年度には、^{いわたにし}日野～岩田西間(延長2.3km)が部分開通しています。

事業名	一般国道156号 岐阜東バイパス		
	^{やつるぎ とうこうちょう} 八剣～東興町	^{とうこうちょう ひの} 東興町～日野	^{ひの やまだ} 日野～山田
道路規格	第4種第1級	第3種第1級	第3種第1級
設計速度	60km/h	80km/h	80km/h
車線数	6車線	4車線	4車線
都市計画決定	昭和49年度	昭和55年度	平成6年度
事業化	昭和46年度	昭和46年度	平成6年度
用地着手年度	昭和48年度	昭和57年度	平成13年度
工事着手年度	昭和49年度	昭和61年度	平成20年度
延長 (平成27年度末)	13.4km (うち開通済9.0km)		
前回の再評価	平成25年度(指摘事項なし:継続)		
全体事業費	950億円(増減なし)		
B/C	2.0(H25再評価時)		



標準断面図



2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

①交通渋滞の緩和

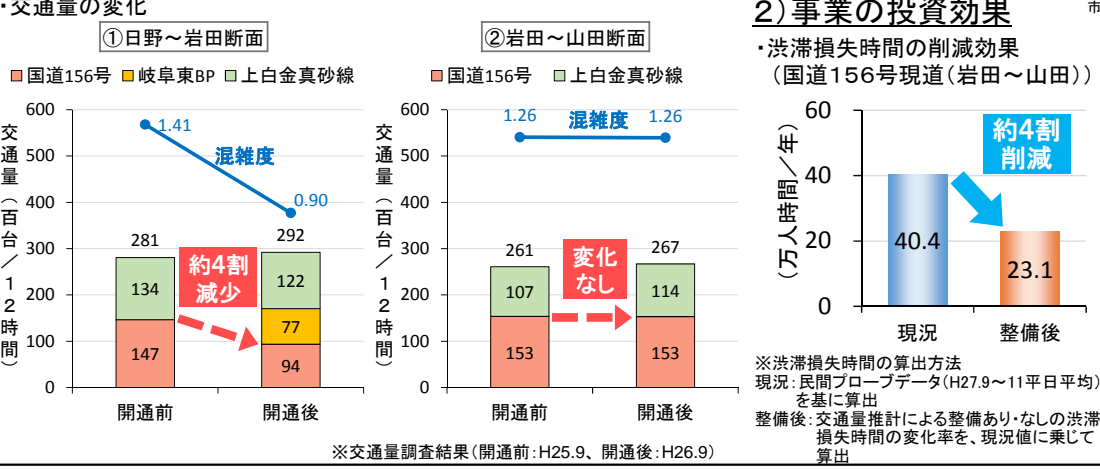
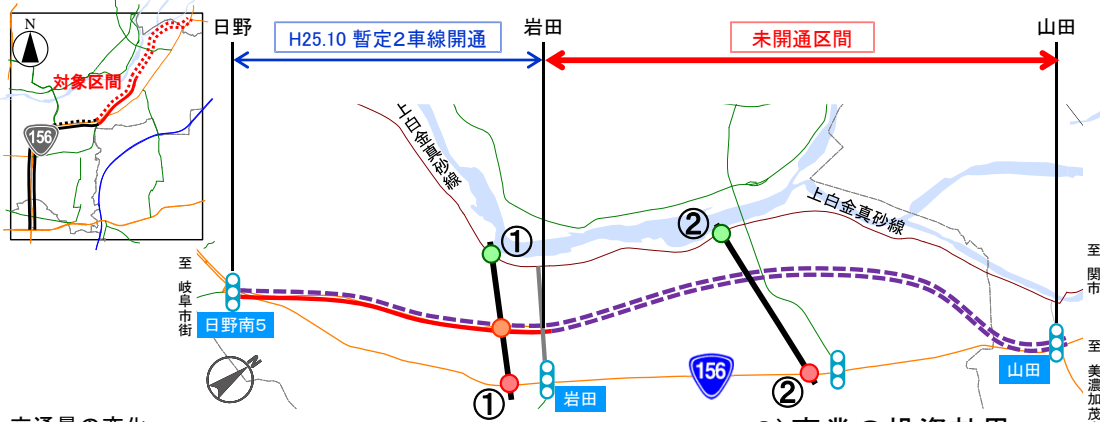
1)事業を巡る社会情勢等の変化

- 岐阜東バイパスの部分開通により交通が分散し、並行する国道156号現道の交通量が約4割減少、混雑度が1.41から0.90に低下。
- 岐阜東バイパス未開通区間に並行する国道156号現道は、交通量の変化はなく混雑度が1.0を超過(1.26)。

2)事業の投資効果

- 岐阜東バイパスへの交通転換により、現道の渋滞損失時間は約4割削減され、交通渋滞の緩和が図られます。

1)事業を巡る社会情勢等の変化



②交通安全の確保

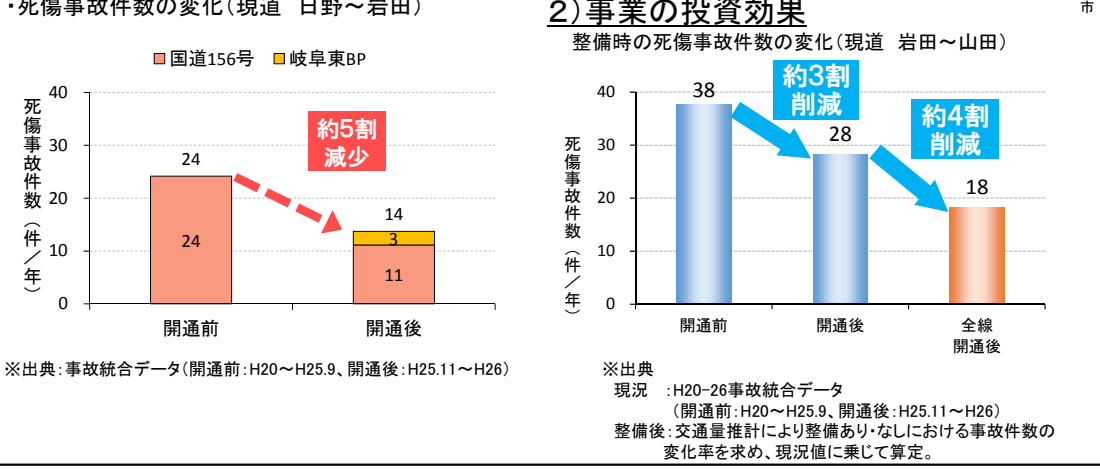
1)事業を巡る社会情勢等の変化

- 岐阜東バイパスの部分開通により、現道の日野～岩田の交通事故発生件数が約5割減少。
- 岐阜東バイパスに並行する国道156号現道(日野南5～山田)には事故危険区間が8箇所あり、うち6箇所はバイパス未開通区間の並行区間に集中。交通事故発生件数は年間28件。

2)事業の投資効果

- 岐阜東バイパスへの交通転換により、現道交通量が減少し、死傷事故件数が約4割減少し、現道の交通安全の確保に寄与します。

1)事業を巡る社会情勢等の変化

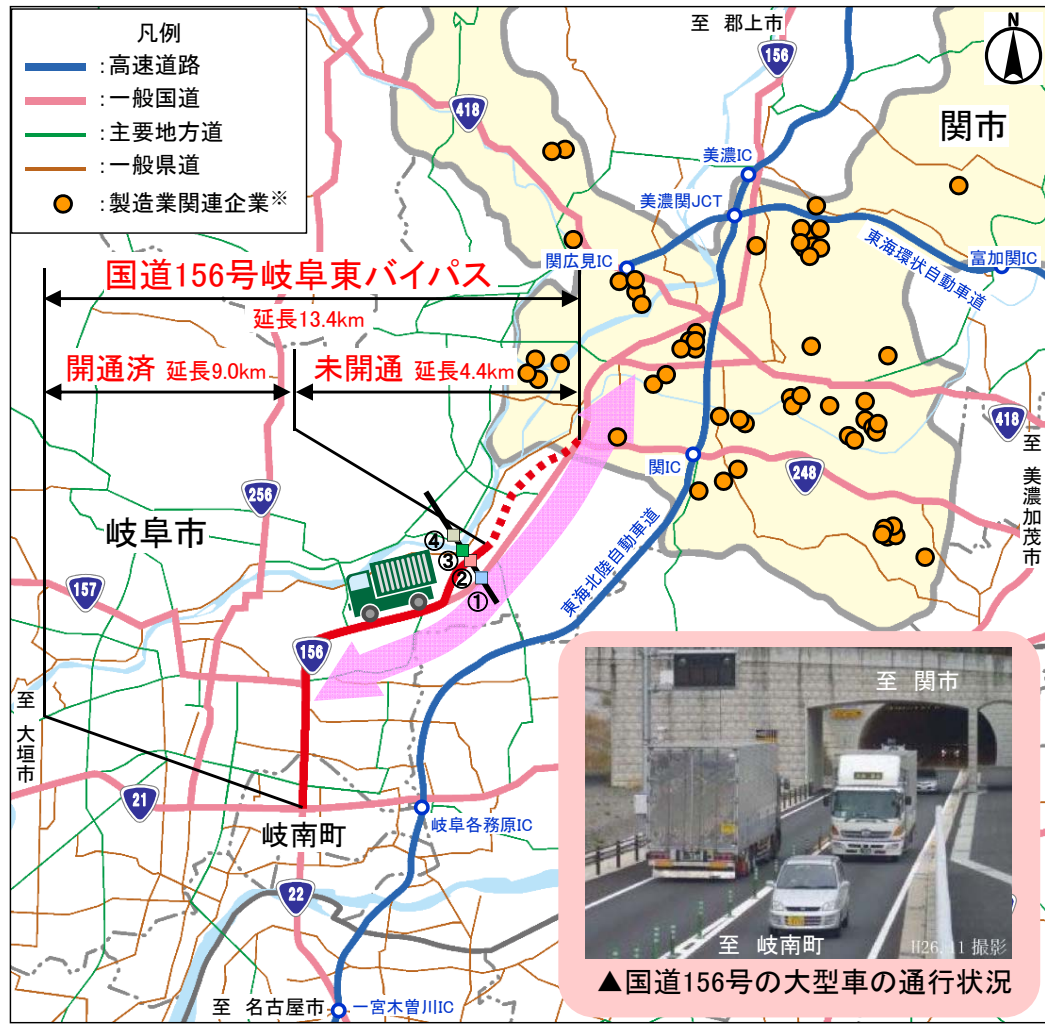


2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

③ストック効果事例：地域経済の活性化

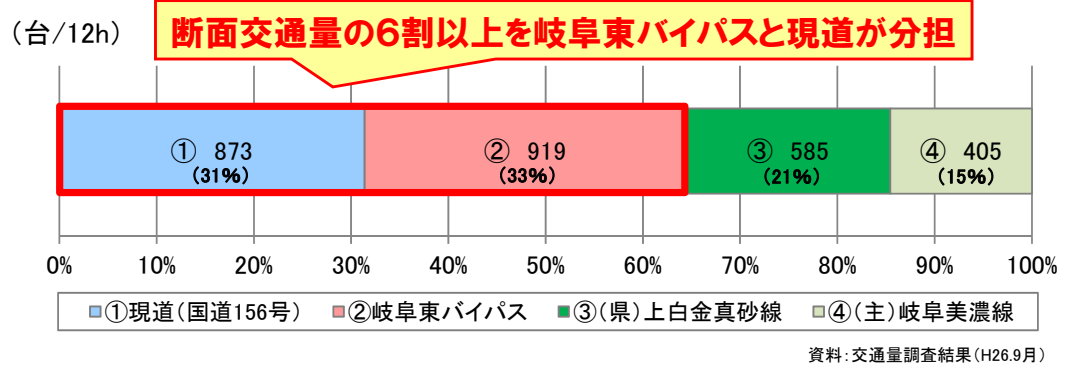
- 国道156号は、関市と岐阜市を移動する大型車交通の約6割を分担しており、地域の経済活動を支えています。
- 国道156号の大型車増加に伴い関市の製造品出荷額等が約1.2倍に増加しており、岐阜東バイパスの整備により更なる地域経済の活性化が期待されます。

■岐阜東バイパス周辺の製造業企業立地

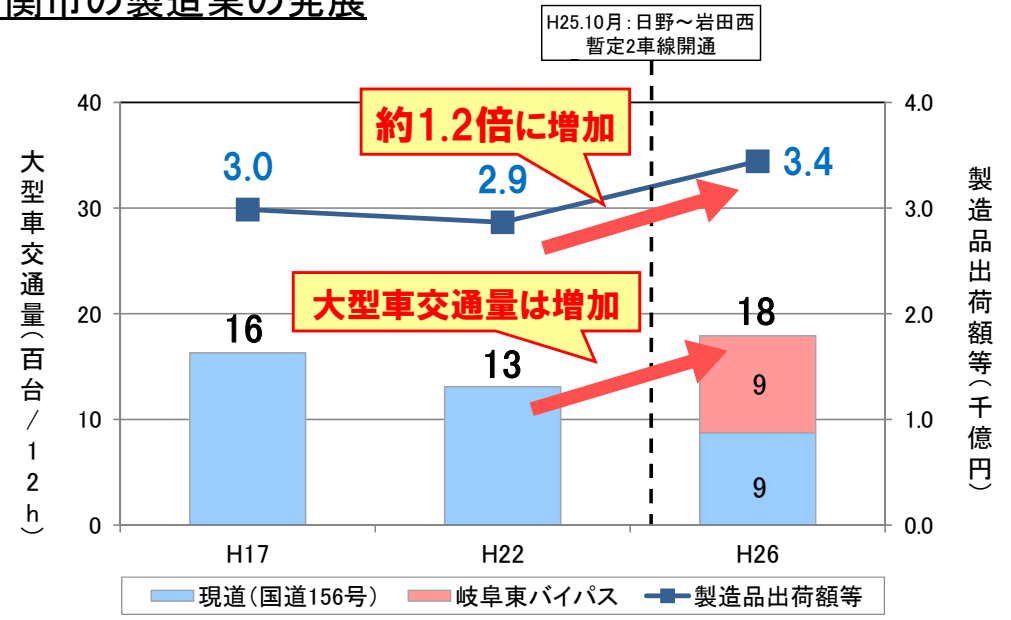


※資料：関商工会議所HP(「機械器具・工具・精密機器などの製造」に該当する企業)

■関市と岐阜市を結ぶ南北軸の大型車交通量



■関市の製造業の発展



3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は**58%**、用地取得率は77%に至っています。(平成27年度末)
- (参考) 前回再評価時：事業進捗率は**56%**、用地取得率は76%(平成24年度末)

2) 事業の進捗の見込み状況

- 岐阜市日野南から岐阜市岩田西(延長2.3km)は平成25年10月19日に開通しています。
- 残る、岐阜市岩田西から関市山田(延長4.4km)については、早期開通に向けて用地買収を推進します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■岐阜県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
なお、事業費については、最新の技術も含めて、徹底した縮減をお願いします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道156号岐阜東バイパスの事業を継続する。